

# 2024 AUTOBACS SUPER GT ROUND6 MOTEGI GT 300KM RACE NISSAN MECHANIC CHALLENGE

## Race Report

2024 / 11 / 2,3



この活動は下記のパートナー企業様に支えられています。



専門学校 **日産栃木自動車大学校**

# 【GT300クラス レース結果】

2024.11.2(土):予選日

天気:雨 / 路面状態:ウェット

朝から雨脚が強くなったり弱くなったりする不安定な天候でしたが、多くのお客様がサーキットへ足を運びました。予選Q1はオリベイラ選手が担当し、雨が降る難しいコンディションのなか、徐々にペースを上げていきましたが、セッション終盤に赤旗が提示されてしまい、タイムを上げ切ることができずQ2上位14チームのなかに入ることはできませんでした。

予選Q2の15位以下のグループでの走行は佐々木選手が担当。濡れた滑りやすい路面のなか、1つでも順位を上げようと力走をみせ、2分2秒021のタイムを記録。3日の決勝は21番手からのスタートとなりました。

2024.11.3(日):決勝日

天候: / 路面状態:

前日の雨が嘘のように天候が回復した3日。決勝日はより多くのお客様が足を運びました。13時7分、決勝レースがスタート。スタートドライバーの佐々木選手は21番手から3週目までに18番手までポジションを上げると、その後も次々とライバルを追い抜いていきました。56号車はライバル勢が続々とピットに入るなか、25週目にトップに立つと、26週目にピットイン。給油、タイヤ交換、ドライバー交代をしてコースに15番手で復帰。オリベイラ選手もライバル勢を次々に追い抜く攻めの走りを見せ、最終ラップには5番手争いまであと1歩の8番手までポジションを上げ、チェッカーフラッグを受けました。



## **【近藤真彦監督インタビュー】**



**Q1.監督は今年水素カローラやスーパーフォーミュラで走行していましたが、次乗ってみたいレーシングカーは何ですか？**

A. 最高峰のマシンである F1にのってみたいです。以前スーパーフォーミュラに乗せてもらったときに、僕が現役で GT500や F3000、フォーミュラニッポンで乗っていた20年くらい前のマシンとはもう別物だと感じました。今のスーパーフォーミュラが昔の F1と同じくらいの感覚じゃないかなと思うくらい速かったので、今、GT500、GT300、スーパーフォーミュラで戦っていることがいかに大変かということが分かりました。

**Q2.決勝中、無線でのやり取りで特に注意していることなどはありますか？**

A. バトルをしているときにドライバーに話しかけたり、質問したりしないことを心がけています。僕を含めドライバー出身の監督は、どこで無線が入ってきたらドライバーは気持ちよくこたえられるのかというのが分かっているので、タイミングモニターなどをみてドライバーの状況を判断してから声をかけると、ドライバーも気持ちよく返答してくれます。

### Q3.最近嬉しいと思って瞬間はどんな時ですか？

A. GT のオートポリス戦の予選で500クラスがポールポジションをとって、300クラスが2番手だった時です。300クラスがもう一つ順位を上げることができたらさらにうれしかったですが、最近のレースのなかだと両方ともフロントローに並ぶことができたということがうれしかったし、「良かった今年も…」とも思いました。

### Q4.愛媛校から最近、監督が日産マーチを購入されたとお聞きしましたが、今一番推しているポイントを教えて下さい。

A. まだ届いてないんです。（笑）納車前の最後の点検中みたいで、今は楽しみでずっと写真を見たり、人に自慢をしたりしています。今が一番楽しい時間かもしれません。納車されたらどこかで見れるといいね。すごくいい車ですから。

### （Q5？）もし整備に困ったら、ぜひ栃木校にお任せください！

A. 栃木校に持って行ってピカピカにしてもらおうかな。（笑）マーチのメンテナンスよろしくお願いします！



# 【56号車ドライバーインタビュー】



**Q1.久しぶりのウエイトを積んでのもてぎでのレースですが、今日車両を走らせて難しいと感じた点はどこですか？**

## 佐々木選手

A. 今日はあいにくの天気で公式練習は1周も走れなかったのですが、そもそも久しぶりにもてぎを走るのに全然練習が出来なかったということが難しいと感じました。  
実際に予選を走ってみて今日は車の調子があまりよくなかったですが、明日は晴れるので、晴れのレースを楽しみたいと思います。

## オリベイラ選手

A. シーズン序盤から特にGT-RはBoPの変更で例年よりさらにウエイトを積んだ状態での走行をしています。マシンが重くなることは事前に分かっていたし、重くなることによって、ブレーキングやアクセルコントロールが難しくなり、パワーウエイトレシオが下がったことで、ハードブレーキや十分なパワーがないことで立ち上がりでのGT-Rの強みが奪われています。もてぎでの問題は明確でストップアンドゴーのコースなので私たちには良いブレーキングとアクセルコントロールが求められます。過去2,3年と比べるととてもタフな年で普段のもてぎだ

ったらもっと高い性能だったと思いますが今年は BoP、天候や路面コンディション、タイヤ選択も要因の1つかもしれません。他の細かな要因は我々で調整しなければならないけど、BoP が1番の問題です。

## Q2.決勝中 無線のやり取りで注意している点などはありますか？

### 佐々木選手

A. 無線のやり取りで大事なのは相手にしっかり伝えることです。レース中のような冷静さを失いそうな場面でもしっかりと冷静さを保って正確に今ある状況を伝えることがメインです。そしてしっかりインフォメーションを上げることが無線の大事なところかなと思います。レースは命もかかっているのでお互いにちゃんとした情報を伝え合い、分かりやすく短くメインをちゃんと伝えられるということが大事だと思います。

### オリベira選手

A. 無線で最も重要なことは明確で、客観的で短いメッセージであることです。私は日本語でコミュニケーションをとろうとしているのですが、バトル中などの場面では、私の知っている日本語のなかで適切なメッセージを考えたり話したりすることが特に難しいと感じます。チームの人とは長年一緒にコミュニケーションを取ってきたのでお互いを理解することが出来ていると思います。

## Q3.大切にしている言葉などはありますか？

### 佐々木選手

A. 自分としては今年苦しい状況もあったのですが、やっぱり『**ベストを尽くす**』ということが僕としては常に思っていることなので、今シーズンからレギュレーションが変わってちょっと苦しいレースが多い中で JPさんとチームとベストを尽くすしか僕たちにできることがないので、とにかくいつも思うのはどんな状況でも腐らずベストを尽くすことかなと思います。

## オリベイラ選手

A. 私は『**ネバーギブアップ**』です。レースの世界では時には困難な状況になったり、時には楽な状況になったりします。私はどんなに困難な状況でも決してあきらめてはいけないと思っています。

**Q4.スーパーGT は2つのクラスが混走するレースですが2つのクラスを経験されたお二人から見て、500クラスと300クラスではどのような違いを感じますか？**

## 佐々木選手

A. 500クラスは基本的に抜いていく方、300クラスは抜かれることが多いのでまずそこが圧倒的な違いです。500はミラーを見る回数が全然少なく300は500の譲り方によって自分のポジションを落としてしまったり、逆にポジションを上げたりすることもできるのでその考え方が500クラスとは真逆だと思います。ドライビングに関してはダウンフォースなどの細かい違いはありますが、基本的には一緒なので、速く走らせるということに関してはどちらのクラスも変わらないです。レース中、抜いたり抜かれたりという部分では抜くほうはリスクが高く、GT では500が300に当たらないように気を付けなければいけないのでその点は500クラスのほうが難しい部分なのかなと思います。

## オリベイラ選手

A. 500では、レース中は常にラップタイムが約10秒遅い300の車を1周で何度も追い抜くため少しリスクをとる必要があります。300では、より機会を逃さないことが重要です。500が追い抜こうとしている時、良いトラックポジションを維持することで、ライバルよりも時間を稼ぐための適切な機会をつかむことができます。500はコーナーやエリアによっては300を追い抜くことが難しい場面があるため、リスクを取る事が多く、300はレースに有利になるために500を利用するところが2つのクラスの違いだと思います。

# 【日産販売店 TS インタビュー】

## 日産プリンス栃木販売株式会社

### 青木 奏弥さん

(栃木校,工学科19期卒業生)

**Q. 今回、日産メカニックチャレンジとしてピットの活動に参加してみて、普段の整備とレースの整備について、どんな違いを感じますか？**



A. やはり、普段の整備もトルク管理などは行っていますが、レースになるとコンマ何ミリや、山何ミリの精度がレースの世界では求められていると感じました。

**Q. 今働いている販売会社の決め手は何ですか？**

A. 整備の環境の良さや待遇が良かったので決めました。

**Q. 栃木校の魅力を教えてください！**

A. 日産校ならではの、即戦力になる技術が身に着けられるので、就職してからかなり安心して自分が整備することができる点が魅力だと思います。

# 日産東京販売株式会社

山内 華暖さん

**Q. 今回、日産メカニックチャレンジとしてピットの活動に参加してみて、普段の整備とレースの整備について、どんな違いを感じますか？**

A. 基本的には車を扱うという点では変わりませんが、作業内容は全く事なります。通常の仕事だと部品の交換や、オイル交換などが多いのですが、サーキットでの作業は、1/100mm くらいの細かい調整が多く、きっちり合うまで何度もつけて外して測定を繰り返すなどの正確性が販売会社で行う作業とは全然違うなと感じました。



**Q. 今、整備士を目指す人たちにメッセージをお願いします！**

A. 車が好きという気持ちを大事にして、仕事となると趣味とはまた変わってくると思いますが、好きであれば続けられると思うのでぜひ頑張ってください！

# 【広報活動を振り返って】

## 広報リーダー 3年 小野寺 紀

今回の活動では、過去の活動の反省を活かし、広報班の中で各メンバーに役割を割り振り、仕事を分担して活動しました。その結果広報班のメンバーも経験を積み昨年よりもより良いレポートを完成させることができました。今回の活動で得た経験を、これからの学校生活で活かしていきたいです。

